

2017 年度（平成 29 年度）

事業報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

日本繊維輸出組合

目 次

第一 2017年の繊維製品輸出動向	1
I. 総 論	1
II. 主要繊維製品の輸出状況	3
1. 綿 類.....	3
2. 糸 類.....	3
3. 織・編物類.....	4
4. 不織布.....	5
5. アパレル.....	5
6. その他製品.....	6
繊維輸出総括表（2017年1～12月）	7
第二 組合員の異動及び機構等	8
I. 組合員の異動.....	8
II. 機 構	8
III. 役 員	9
第三 事業の概要	11
第四 総会・理事会・監事会	13
I. 総 会	13
II. 理 事 会	13
III. 監 事 会	14
第五 企画委員会及び商品・市場・制度別委員会等	15
I. 企画委員会	15
II. 原料資材委員会.....	16
III. 漁網・漁網糸委員会.....	16
IV. 織・編物委員会.....	16
V. アパレル委員会（東京・大阪合同）	16
VI. 家庭用品委員会.....	17
VII. 海外市場開拓委員会.....	17
VIII. 組合運営に関するタスクフォース	17
第六 事業関係	18
I. 新年賀詞交歓会	18

II. 第 17 回日中繊維貿易定期協議の開催	18
III. 展示商談会	19
IV. EPA/FTA 協議等への対応	20
V. 繊維貿易情報センター	20
VI. 研修会、講演会、セミナー等の開催	21
VII. 海外（含む駐日）関係機関等交流・協力等	27
VIII. 上海分会	27
IX. 国内関係諸団体	29
X. CSR について	29

第七 業務関係..... 31

I. 輸出繊維製品の原産地証明書発給状況	31
II. 広報、諸統計、その他	
1. 組合 HP・掲示	31
2. 諸統計の作成	31
3. 登記・届出関係	32

第一 2017年の繊維製品輸出動向

I. 総論

2017年の我国の繊維品輸出実績合計は、ドルベースで75億6,100万ドル（前年比99.3%）となり、前年に比べて横這いとなった。一方、円ベースでは円/ドル換算レートが前年比約3%程度円安（2016年108.83円/ドル→2017年111.98円/ドル）に振れたため、合計で8,475億9,300万円（同102.4%）と微増となった。

我国の繊維品国内生産は、長年にわたる海外移転を経て、中長期的には縮小傾向にあるものの、近年は国内の産業資材用需要が堅調であることから、生産減少が緩やかになっている。一方、海外繊維需要は世界経済の拡大により堅調に推移し、また、為替も前年に比べ円安で推移したことから、2017年の繊維品輸出は円ベースでは主要品目の織・編物を中心に糸、不織布、衣料品、その他繊維品が前年比増加となった。

特に織・編物は輸出全体の43%を占めており、中国向け織物は横這いで推移したが、ベトナムなどのアセアン縫製国向け輸出が増加し、円ベース合計で前年比102.0%と増加した。

(1) 2017年繊維品の輸出総括表

	百万円	前年対比	百万ドル	前年対比	千トン	前年対比
綿（わた）	91,054	89.6	812	87.3	231	91.1
糸	114,020	104.9	1,017	101.7	129	106.2
織・編物	366,726	102.0	3,271	98.8	160	103.0
不織布	77,007	108.1	687	104.8	55	105.7
衣料品	49,321	102.9	440	96.9	3	101.6
その他繊維品	149,465	108.1	1,333	105.5	346	103.2
繊維品総合計	847,593	102.4	7,561	99.3	924	100.3

出所：財務省貿易統計（以下同じ）

注：前年対比は%

織・編物は織物、タイヤコード織物、コーテッド織物、ニット生地を含む

(2) 2017 年 繊維製品・主要地域別輸出状況

	トン	前年対比	構成比	百万ドル	前年対比	構成比
東アジア・アセアン	718,245	102.6	77.7	5,489	100.3	72.6
中国	209,045	105.6	22.6	2,379	101.0	31.5
アセアン	358,637	104.0	38.8	1,932	102.4	25.6
中央・西アジア	32,175	91.2	3.5	356	90.5	4.7
ヨーロッパ	68,709	89.0	7.4	772	95.7	10.2
EU28	62,594	93.4	6.8	709	98.0	9.4
北米	61,665	105.4	6.7	671	107.9	8.9
米国	60,107	105.4	6.5	641	108.7	8.5
中米	5,965	164.0	0.6	62	141.0	0.8
南米	3,484	85.3	0.4	23	79.0	0.3
アフリカ	30,924	79.3	3.3	155	72.7	2.1
大洋州	2,999	83.8	0.3	33	93.8	0.4
全世界	924,165	100.3	100.0	7,561	99.3	100.0

出所：財務省貿易統計注
前年対比、構成比は%

昨年の主要地域別輸出実績をみると、全輸出の73%を占める東アジア・アセアン向けは、ドルベースで前年比100%の横這いであった。近年のチャイナ・プラスワンによる中国からアセアン諸国への縫製基地のシフトにより、EPAを活用した製品持ち帰り用を含め、我国からベトナム、インドネシアなどアセアン縫製国への織・編物や糸の輸出が増加した。

II. 主要繊維製品の輸出状況

1. 綿類

2017年の繊維品輸出を主要品目別に見ると、原料品目では全繊維輸出額のうちシェア11%の綿類は、数量が前年比9%減の23万508トン、金額では同13%減の8億1,233万ドルとなった。

主力の合繊綿は、数量が前年比5%減の18万5,461トン、金額も同5%減の7億686万ドル。州別で数量シェア55%を占める東アジアのうち、最大市場の中国が数量で同7%増の7万1,391トン、金額でも同12%増の2億4,529万ドルとなり、2016年の約30%大幅減からある程度回復した。EU向け輸出は、数量が同6%減、金額も同2%減。米国向けは、数量が同5%減、金額は同2%増。また、合繊綿のうちポリエステル綿では、数量で同29%減の1万4,321トンとなり、金額でも同28%減の4,379万ドルと大幅減。一方でアクリル綿は、数量が同2%減の13万6,946トン、金額も同3%減の5億728万ドルに留まった。

スフ綿は数量が前年比43%減の1万9,051トン、金額も同49%減の8,539万ドルと2年連続での大幅減となった。主要市場でもある中国が数量では3%増の8,656トン、金額は6%減の4,033万ドルと2016年の50%を超える大幅減からの回復は成らなかった。欧州向けが数量で同4%と激減した他、ベトナム、インドネシア向けも減少した。

2. 糸類

全繊維輸出のうち金額シェア14%の糸類は東アジア向け輸出が中心で、数量は前年比6%増の12万9,140トン、金額も同2%増の10億1,716万ドルとなった。

(1) 人絹糸

主な輸出先のうち、中国向けが数量で前年比18%増、金額同15%増と2桁の増加、またインドは数量で同4%減、金額同4%増加した。一方、イタリア向けは数量50%減、金額も49%減少したため、全体としては数量が前年対比99.8%と前年並みの1万2,228トン、金額は前年比4%増の1億5,298万ドルとなった。

(2) 合繊長糸

主力の合繊長繊維糸は、数量で前年比6%増加し10万7,939トン、金額も同2%増の7億9,046万ドルとなった。合繊長繊維糸における最大輸出市場の中国は数量で前年比20%増の1万7,466トン、金額は同6%増の1億5,320万ドル、またタイは数量で9%増、金額同5%増加。

その他主要国では米国向けが数量・金額ともに大幅増となったものの、2016年は数量で最大の輸出先であったEU向けが数量で9%減、金額も6%減少した。

素材別ではナイロン長糸の数量が前年比14%増の4万4,214トン、金額が同5%増の2億5,975万ドル。ポリエステル長糸は数量が前年並みの1万4,530トン、金額も横這いの1億741万ドル。アクリル長糸は数量で同2%増の2万3,122トン、金額がほぼ横這いの1億739万ドルとなった。

(3) その他の糸

合繊短繊維糸は、数量が前年比14%増加したものの金額は同12%減少し2,560万ドル。綿糸は数量、金額ともに過半数以上を占めるタイが数量で同40%増、金額も同23%増加し、また、数量では中国やベトナム向けも増加したため、合計では数量で同25%増の3,883トン、金額は前年並みとなった。

3. 織・編物類

合成繊維の長繊維織物を中心に全繊維輸出額の43%と最大のシェアを有する織・編物類の輸出は、金額では前年比1%減の32億7,120万ドルとなった。メインの合繊長織物は増加したものの、綿織物などの短繊維織物が減少した。

(1) 合繊長織物

主要品目の合繊長織物輸出は、数量が前年比4.5%増の4億977万平方メートル、金額が同1.8%増の9億7,577万ドルとなった。数量、金額ともに3分の1以上を占める中国向けが数量同1%増、金額同1%減とほぼ前年並みだったが、ベトナムが数量で同17%増、金額も同16%増加した。

また、品種別ではポリエステル長織物が最大の輸出先の中国やアラブ首長国連合などで減少したが、ベトナムや韓国向けが10%以上増加し、数量で前年比3%増の2億4,433万平方メートル、金額は前年並みの5億7,072万ドルとなった。また、ナイロン長織物はスポーツ・カジュアル用を中心とした織物であり、数量シェア49%を占める中国向けが数量で前年比8%増の4,151万平方メートル、金額が同4%増の9,237万ドルと増加し、また、ベトナム向けも数量31%減の1,657万平方メートル、金額も同28%増の4,746万ドルと増加したが、香港やEU向けは減少した。

(2) 合繊短織物

東アジアや中東を主な輸出先とする合繊短織物全体は、数量が前年比3.1%減の1億4,099万平方メートル、金額も同6.5%減の3億4,034万ドルとなった。民族衣装用のアラブ首長国が数量同6%減、金額も同12%減、サウジアラビアも数量同17%減、金額21%減の大幅減となった。持ち帰り用を中心とした中国向けも数量同1%減、金額同7%減となる中、ベトナムが

数量で同4%増、金額は前年並みとなった。

このうち、90%以上を占めるポリエステル短織物は、約50%のシェアを占める中東など西アジアが減少、中国やベトナムなど東アジア向けは比較的堅調に推移した。また、アクリル短織物は中東向け、中国向けが共に金額で減少した。

(3) 綿織物

綿織物輸出は、数量が前年比4.7%減の1億2,238万平方メートル、金額も同5.9%減の4億5,618万ドルとなった。数量でシェア77%を占める東アジア向けが主体で、このうち持ち帰り用を中心とする最大輸出相手国の中国向けが数量、金額共に同7%減、ベトナムが数量同2%減、金額同9%減。その他ではインドネシアとシンガポールが数量、金額ともに増加し、香港とタイが減少。東アジア以外の国では、米国向けがデニムの伸び悩みや第三国産品との競合激化などから数量で同10%減、金額も同11%減少した。

(4) ニット生地

東アジアへ持ち帰りや産業資材用途での輸出が多いニット生地は、数量が前年比7.1%増の1億6,206万平方メートル、金額は同1.5%減の5億5,671万ドルとなった。最大市場の中国向けが数量で同2%増加し金額は同8%減少したが、第2位のベトナムは数量で同9%、金額でも同3%増加。この他、インドネシア向けが数量、金額ともに同3%増加、タイも数量が同49%、金額でも同17%増加した。

4. 不織布

芯地や衛生材料、自動車関連用途、その他産業資材用等と多様な用途を持つ不織布の輸出市場最大である中国向けは、数量が前年比3%増、金額は同1%増となり、全体では数量で前年比3.8%増の8億6,623万平方メートル、金額が同4.8%増の6億8,683万ドルとなった。金額で中国に次ぐ米国向けは数量で前年比7%減、金額は同15%増、数量で僅かに米国を抜き2位となった韓国は数量が前年比12%増、金額も同12%増加した。

5. アパレル

中古品を除くアパレル輸出（金額ベース）は、主要品目の布帛製外衣が前年比2%減の1億5,524万ドル、同下着が同2%減の5,533万ドル、また、ニット製外衣は同3%減の8,587万ドル、同下着は同3%減の6,632万ドルで各品目とも減少に転じた。この結果、アパレル全体での金額は同3.1%減の4億3,979万ドルとなった。

米国経済が好調なこともあり米国向けは各品目とも増加しているが、EUがニット製衣類の輸出が増加したものの布帛は減少、また、最大の輸出先であるアセアンを含む東アジアがここ数年続いた増加傾向から減少に転じた。

6. その他製品

「技術的用途に供するもの」や「ウォッディング」、「細幅織物」、「ゴム加工織物」、「紐・綱・ケーブル及びその製品」など前項のいずれにも属さない「その他繊維品」の輸出は、前年比 5.5% 増の 13 億 3,339 万ドルであった。

繊維輸出総括表（2017年1～12月）

	単位 (千)	平成28年(2016年)		平成29年(2017年)		前年比(%)	
		数 量	金 額 (千ドル)	数 量	金 額 (千ドル)	数量	金額
< 繊維原料計 >							
スフ綿	KG	33,269	167,197	19,051	85,392	57.3	51.1
合繊綿	KG	195,145	744,924	185,461	706,862	95.0	94.9
その他綿	KG	25,028	18,040	25,996	20,073	103.9	111.3
繊維原料計	KG	253,442	930,161	230,508	812,327	91.0	87.3
< 糸 類 >							
人絹糸	KG	12,251	147,066	12,228	152,982	99.8	104.0
合繊長繊維糸	KG	101,660	774,977	107,939	790,459	106.2	102.0
合繊短繊維糸	KG	3,516	28,951	3,994	25,597	113.6	88.4
その他糸	KG	4,217	49,093	4,979	48,120	118.1	98.0
糸類計	KG	121,643	1,000,087	129,140	1,017,158	106.2	101.7
< 織・編物 >							
織 物	SM	741,651	2,275,865	746,608	2,219,691	100.7	97.5
絹織物	SM	4,941	55,186	4,786	50,112	96.8	90.8
毛織物	SM	20,593	198,893	18,883	177,695	91.7	89.3
綿織物	SM	128,387	484,863	122,379	456,180	95.3	94.1
麻織物	SM	1,882	14,010	1,589	11,948	84.4	85.3
人絹織物	SM	43,855	178,706	42,975	183,030	98.0	102.4
スフ織物	SM	4,310	21,732	5,245	24,619	121.7	113.3
合繊長繊維織物	SM	392,259	958,290	409,767	975,767	104.5	101.8
合繊短繊維織物	SM	145,422	364,187	140,985	340,339	96.9	93.5
その他織物	KG	44,076	449,567	39,832	474,796	90.4	105.6
ニット生地	SM	151,377	585,736	162,061	576,713	107.1	98.5
織・編物計	KG	155,637	3,311,167	160,297	3,271,199	103.0	98.8
< 二次製品 >							
不織布	SM	834,559	655,526	866,228	686,829	103.8	104.8
衣 類	KG	3,365	453,721	3,418	439,791	101.6	96.9
その他繊維製品	KG	335,176	1,263,307	345,816	1,333,387	103.2	105.5
繊維品合計	KG	921,269	7,613,968	924,165	7,560,691	100.3	99.3

出所：財務省貿易統計

第二 組合員の異動及び機構等

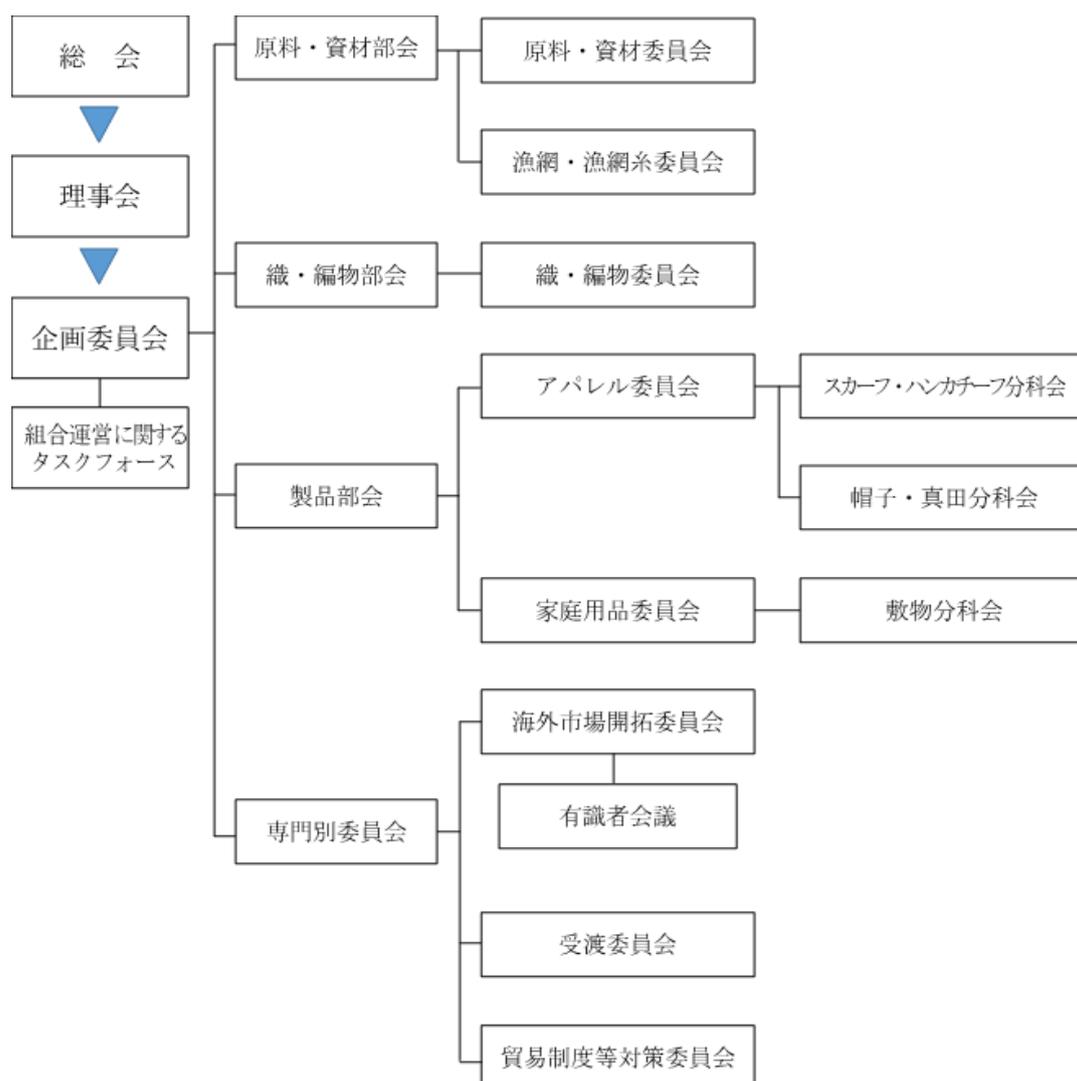
2018年3月31日現在

I. 組合員の異動

I. 組合員の異動

年度初頭組合員数	年度中の異動			年度末組合員数
	加 入	脱 退	合 併	
正組合員数 116	0	1		115

II. 機 構



Ⅲ. 役 員

(敬称略)※印:員外理事

(2017年5月29日(月)第18回通常総会選任)

	氏 名	社 名	役 職 名
理 事 長	秋吉 満	丸紅(株)	代表取締役 副社長執行役員
副理事長	大平 裕一	丸紅(株)	ライフスタイル本部長
副理事長	清水 源也	伊藤忠商事(株)	執行役員 第二部門長
副理事長	山田 哲也	三菱商事(株)	リテール本部 S.P.A 衣料部長
副理事長	木原 伸一	三井物産(株)	ファッション・繊維事業部長
副理事長	中村 英一	日鉄住金物産(株)	取締役常務管掌執行役員
副理事長	西田 吉彦	西田通商(株)	代表取締役
副理事長	荒居 徹	(株)三陽商会	取締役 兼 常務執行役員
副理事長	小倉 弘二	双日(株)	リテール・生活産業本部副本部長
副理事長	藤本 清貴	帝人フロンティア(株)	取締役 衣料繊維第二部門長
副理事長	佐橋 由文	豊田通商(株)	アパレル事業部部長
副理事長	八木 雄三	八木通商(株)	代表取締役社長
※専務理事	江花 徹	事務局	専務理事
理 事	速水 隆夫	(株)チクマ	婦人服地部長
理 事	吉田 裕志	蝶理(株)	執行役員 繊維第一本部長
理 事	川久保 理	(株)コム・デ・ギャルソン	常務取締役
理 事	中村 一郎	(株)デサント	取締役会長
理 事	西野 幸信	フォード・アパレル・トレーディング(株)	執行役員 デイビジョンマネージャー
理 事	中山 正輝	(株)GSIクレオス	常務取締役
理 事	永谷 正勝	(株)イッセイミヤケ	代表取締役社長
理 事	伊藤 洋二	清原(株)	取締役 営業副本部長
理 事	大久保行紀	興和(株)	取締役常務執行役員 生活関連事業部長
理 事	桃井 一光	桃井製網(株)	代表取締役社長
理 事	今泉 賢治	(株)ナイガイ	代表取締役社長
理 事	竹中 宏	西澤(株)	取締役会長
理 事	俣野 太一	日織商工(株)	代表取締役社長
理 事	藤原 英昭	野村貿易(株)	取締役執行役員 ライフ部門長
理 事	石村 康治	(株)野澤組	監査役
理 事	坂倉 慎三	サカクラ(株)	代表取締役社長
理 事	川崎 賢祥	三共生興(株)	代表取締役社長
理 事	川添 久	神栄(株)	アパレル本部長

	氏 名	社 名	役 職 名
理 事	守山 郁雄	住友商事(株)	繊維事業部長
理 事	森田 隆文	(株)サンファッション	代表取締役
理 事	市川 政彦	田村駒(株)	代表取締役社長
理 事	児嶋秀治郎	東亜ストリング(株)	相談役
理 事	藤本 浩三	東洋紡STC(株)	取締役執行役員 繊維第一事業総括部長
理 事	豊島 半七	豊島(株)	代表取締役社長
※理 事	森 昇	事務局	理事
※理 事	竹内 友幸	事務局	理事
監 事	中島三舞郎	(株)角仲	代表取締役
監 事	奥村 政博	東光商事(株)	取締役 総務部部長
監 事	大岡 聡	エニカトレーディング(株)	グローバル事業部部長

第三 事業の概要

2017年度（平成29年度）における当組合事業は、組合員共通の利益の増進と繊維品輸出貿易の健全な発展を図ることを目的に、事業計画に基づき理事会、企画委員会、各委員会等の審議を経て、種々の事業活動を実施した。

本事業年度における主たる事業活動の概要は以下のとおりである。

1. 輸出の秩序化と活性化に資するための情報収集を行い、組合員と関係当局等への情報提供を行い相互に意見交換、意思疎通をすすめた。
2. 日本繊維産業連盟・通商問題委員会等に参画し、EPA、FTAを中心とした繊維通商問題について、政府並びに関係業界に対し意見具申し、情報交換、意見交換を行うとともに関連するセミナーを開催し、組合員への情報発信を行った。併せて事務局は各種EPA、FTAについての組合員よりの問い合わせ窓口として対応した。
3. 海外市場開拓委員会の事業として輸出組合主催で東京・青山にて「第4回アセアン縫製用素材展」（2018.2.15（木）～16（金））を開催し、組合員14社が出展した。約1,000名強のバイヤーが来場し、活発な展示・商談が行われた。会期中、同所にて3件のセミナーが開催された。（P.19）
4. ベトナムにてCSR（企業の社会的責任）についてのセミナーを開催したのを始めとして、CSR遵守に関しての情報発信や啓蒙活動を行った。（P.29）
5. 繊維分野でのAI（人工知能）の活用に関連して、中国・深圳より講師を招聘してAIを活用した「繊維画像検索エンジン」についてのセミナーを開催して組合員に情報発信した。（P.21、24、27）
6. 税関や各専門家による「貿易実務の基礎」、「繊維の基礎知識」など、組合員新入社員向け各種研修会を実施し、組合員企業の人材育成に寄与した。その他組合員の関心の高い事項について各種セミナーを開催し、併せて大阪で港湾見学会を実施した。尚、研修会、セミナー開催回数は、関東地区12回。関西地区13回、名古屋地区1回、上海地区3回、ベトナム地区1回。（P.21、24、28）
7. アセアンや中国の各国事情の発信を目的に「ミシンメーカーから見たアセアンの縫製事情」「中国のいま、これから」「ベトナム・ラオスの最新投資・経済状況」「ベトナム投資のメリットとデメリット」など各国事情に係わるセミナーを開催した。（P.21）

8. 繊維貿易情報センターでは、中国、アセアン諸国を中心に情報収集に努め、中国マーケット情報を中心に各種情報のメール配信を行った。(P.20)
9. 日本繊維輸入組合、(一社) テキスタイル倶楽部との合同事業として、上海駐在の組合員企業間の情報交換を目的に上海分会を前年度に続き設置し、今年度は3回会合を開催しセミナーや、意見交換を行った。また、前年に引続き現地ナショナルスタッフ向けセミナーも開催した。(P.27)
10. 「第7回日中韓繊維産業協力会議」(3ヶ国の繊維産業団体による年次会議)(2017.11.16 大阪)に参加し、また「第17回日中繊維貿易定期協議」(日本側/輸出・輸入組合 中国側/中国紡織品進出出口商会との年次会議)(2018.3.1 東京)を開催した。(P.27、18)
11. 中国及びアセアン諸国を中心とする関係機関との交流促進や、諸外国からのミッションや訪日者の受け入れを行った。(P.27)
12. 「組合運営に関するタスクフォース」を開催して①組合の中期収支見通し②次年度の組合賦課金率③次年度の各委員会事業計画について検討を行い、結果を企画委員会に提言した。(P.17)
13. 海外市場開拓委員会の下部機構として「有識者会議」を設置、毎月開催して、組合事業の企画立案及び輸出状況の分析等について活発な意見交換を行った。(P.17)
14. 通関情報処理システムの組合員の輸出入情報を代行処理し、当組合ホームページ内で組合員が閲覧可能な自社分の日次の輸出入データの情報提供を行った。(P.31)
15. 「TEXTILE EXPORTS OF JAPAN」、「中国海関統計」、その他各種統計資料を作成し、輸出組合のホームページに掲示し、組合員への情報提供を行った。(P.31)
16. ジェトロ、日本貿易会、日本繊維産業連盟等の国内関係諸機関、諸団体事業への協力を行った。(P.29)

第四 総会・理事会・監事会

I. 総 会

第 18 回通常総会

日 時：2017 年 5 月 29 日（月）15 時 30 分～16 時 20 分

場 所：輸出繊維会館 中地下階 会議室（大阪府中央区備後町 3-4-9）

議 長：小関理事長

議 案：第 1 号議案 2016 年度（平成 28 年度）事業報告書及び財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分、各案承認に関する件

第 2 号議案 2017 年度（平成 29 年度）事業計画書並びに収支予算書各案承認に関する件

第 3 号議案 2017 年度（平成 29 年度）における加入金、賦課金の額並びにその徴収の時期、方法案の承認に関する件

第 4 号議案 役員の一部改選に関する件

以上が審議され、承認された。

II. 理 事 会

第 57 回 理事会

日 時：2017 年 5 月 8 日（月）12 時 30 分～13 時 50 分

場 所：東京本部事務所 4 階「会議室」

議 長：清水副理事長（理事長代行）

議 案：第 1 号議案 2016 年度（平成 28 年度）事業報告書及び、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分、各案承認に関する件

第 2 号議案 2017 年度（平成 29 年度）事業計画書並びに収支予算書各案承認に関する件

第 3 号議案 2017 年度（平成 29 年度）における加入金、賦課金の額並びにその徴収の時期、方法案の承認に関する件

第 4 号議案 委員会事業について

第 5 号議案 役員の一部改選に伴う候補者の推薦に関する件

第 6 号議案 第 18 回通常総会の開催日時及び場所決定に関する件

第 58 回 理事会

(輸入組合 第 367 回理事会との合同開催)

日 時 : 2017 年 5 月 29 日 (月) 17 時 20 分～17 時 30 分

場 所 : 輸出繊維会館 中地下階 会議室

議 長 : 秋吉理事長

議 案 : 1. 理事長、副理事長、理事長代行の選任に関する件
2. その他

Ⅲ. 監 事 会

日 時 : 2017 年 5 月 8 日 (月) 13 時 30 分～14 時 30 分

場 所 : 輸出繊維会館 当組合会議室

2016 年度決算書類及び伝票・証憑類等の監査

第五 企画委員会及び商品・専門別委員会等

I. 企画委員会

企画委員会は、組合事業運営に関する諸事項や、商品別、専門別の各委員会、また、組合運営に関するタスクフォースから、それぞれ提議された重要事項について審議し、理事会に付議した。

委員会（平成 29 年度第 1～3 回）、議題・審議事項

平成 29 年度第 1 回

1. 平成 28 年度(2016 年度)事業報告書及び財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分、各案承認に関する件
2. 平成 29 年度(2017 年度)事業計画書及び収支予算書、各案承認に関する件

平成 29 年度第 2 回（輸入組合 第 179 回企画委員会との合同開催）

1. 平成 29 年度正副委員長互選について
2. EPA 協議など最近の通商動向について
3. 「組合運営に関するタスクフォース」の継続設置について
4. 中国紡織品進出口商会との「日中繊維貿易定期協議」について
5. ロジスティクス委員会「東西経済回廊（タイ・ミャンマー）物流調査」派遣について
(輸入組合議題)
6. アパレル委員会・アジア州分科会「沖縄県庁訪問及び懇談」について（輸入組合議題）
7. 海外市場開拓委員会「第 4 回アセアン縫製用素材展」について
8. 輸出組合「第 4 回アセアン縫製用素材展」との協賛について（輸入組合議題）
9. その他

平成 29 年度第 3 回（輸入組合 第 180 回企画委員会との合同開催）

1. 最近の通商動向について
2. 2018 年の繊維製品輸入見通しについて（輸入組合議題）
3. 各委員会の活動および事業計画(案)について（輸入組合議題）
4. 輸入組合「組合運営に関するタスクフォース」での検討結果について（輸入組合議題）
5. 2018 年の繊維製品輸出見通しについて
6. 輸出組合「組合運営に関するタスクフォース」での検討結果について
7. 委員会事業活動報告
8. 日中繊維貿易定期協議概要報告

II. 原料資材委員会

委員会及び情報交換会（平成 29 年度第 1 回）、議事内容、事業活動

- ・平成 30 年(1～12 月)原料・資材輸出見通し策定について
- ・平成 30 年度事業計画について

III. 漁網・漁網糸委員会

委員会及び情報交換会（平成 29 年度第 1 回）、議事内容、事業活動

- ・平成 30 年(1～12 月)漁網輸出見通し策定について
- ・平成 30 年度事業計画について

IV. 織・編物委員会

委員会及び情報交換会（平成 29 年度第 1 回）、議事内容、事業活動

- ・平成 30 年(1～12 月)織・編物輸出見通し策定について
- ・平成 30 年度事業計画について

V. アパレル委員会（東京・大阪合同）

委員会及び情報交換会（平成 29 年度第 1 回、第 2 回）、議事内容、事業活動

- ・「エチオピアの物流事情等」について
- ・日欧 E P A など最近の通商交渉状況について
- ・正副委員長を選任について
- ・委員会事業について
- ・2018 年衣類輸出見通しアンケート実施
- ・2018 年の為替見通しについて
- ・2018 年のアパレル輸出見通し策定について
- ・情報交換
(何れも輸入組合「アパレル委員会」との合同開催)

VI. 家庭用品委員会

委員会及び情報交換会（平成 29 年度第 1 回）、議事内容、事業活動

- ・平成 30 年(1～12 月)家庭用品輸出見通し策定について
- ・平成 30 年度事業計画について

VII. 海外市場開拓委員会

委員会及び情報交換会（平成 29 年度第 1～2 回）、議事内容、事業活動

- ・組合主催展示会「第 4 回アセアン縫製用素材展」を実施した。
- ・海外市場や輸出動向について情報交換を行った。
- ・平成 30 年度事業計画を検討した。

※ 尚、海外市場開拓委員会の諮問機関としての「有識者会議（米良座長）」は、ほぼ毎月開催され、組合事業の企画立案を始めとして、輸出状況の分析や輸出に係わる諸事項について幅広い意見交換を行い、検討内容を海外市場開拓委員会へ報告し、組合の事業運営に貢献した。

VIII. 組合運営に関するタスクフォース

本機関は、①輸出組合の中期収支見通しのリバイス、②組合運営効率化、機能強化等の検討及び対応、③今後新たに事業強化すべき課題、等これらに関する検討と推進を目的に企画委員会の下部組織として継続設置された。平成 29 年度（2017 年度）の主な活動内容は以下のとおり。

委員会（平成 29 年度第 1 回）、議題・審議事項

平成 29 年度第 1 回

1. 平成 29 年度(2017 年度)タスクフォース議長選出について
2. 中期輸出入見通し等アンケートの調査結果について
3. 組合の中期収支見通しについて
4. 平成 30 年度賦課金率について

第六 事業 関係

I. 2018 年（平成 30 年）新年賀詞交歓会【日本繊維輸入組合と共催】

	関西地区	中部地区	関東地区
開催日	2018 年 1 月 5 日（金）	2018 年 1 月 9 日（火）	2018 年 1 月 11 日（木）
会場	輸出繊維会館	名古屋観光ホテル	ホテル グランドパレス
年頭挨拶	大平副理事長	豊島理事	秋吉理事長
来賓祝辞	近畿経済産業局 浅井通商部長 殿	中部経済産業局 鈴木総務企画部部長 殿	経済産業省製造産業局 土田審議官 殿
乾杯発声	八木副理事長	伊藤忠商事(株) 名古屋支社小野繊維部長	木原副理事長
司会	片山 企画委員長	朝倉 企画委員	片山 企画委員長
出席者数	約 220 名	約 110 名	約 125 名

II. 第 17 回日中繊維貿易定期協議の開催

1. 日時：2018 年 3 月 1 日（木） 15 時 30 分～17 時 15 分
2. 場所：東京 輸入組合東京本部 4 階会議室
3. 出席者：
 - （日本側）
 - 大平 副理事長（丸紅株式会社）
 - 片山 企画委員長（丸紅株式会社）
 - 田淵 企画副委員長代理（伊藤忠商事株式会社）
 - 事務局（江花専務理事、森理事他、通訳；曹 小冬）
 - （中国側）中国紡織品進出口商会
 - 曹 甲昌 会長（中国紡織品進出口商会）
 - 馬 衛民 天津天服三悦服装有限責任公司
 - 馬 英 広報部主任（中国紡織品進出口商会）
 - 郭 巍 広報部職員（中国紡織品進出口商会）
4. 議事次第：《司会進行；片山企画委員長》
 - (1) 大平 団長挨拶 (2) 曹 団長挨拶
 - (3) 状況報告 (4) 意見・情報交換 (5) 覚書の確認・調印
5. 意見・情報交換：
 - <日本側> 日本の繊維製品の輸出入動向（片山企画委員長）

<中国側>中国の繊維品・服装品の輸出入動向（曹会長）

<その他>①中国における繊維産業移転に関する考え方

②中国の「一帯一路」政策に関連した市場開拓への取り組み

Ⅲ. 展示商談会

(1) 「第4回アセアン縫製用素材展」の実施

名 称： 第4回アセアン縫製用素材展

会 期： 2018年2月15（木）09：30 - 17：00

16（金）09：30 - 16：00

会 場： T E P I A エキシビジョンホール（1,230 m²）

〒107-0061 東京都港区北青山2-8-44

主 催： 日本繊維輸出組合

協 賛： 日本繊維輸入組合

出 展 品： アセアン縫製の日本産及び海外産テキスタイルと関連製品

出 展 者： 日本繊維輸出組合員企業 14社 20.5小間（1小間6m×3m）

一村産業(株)、清原(株)、興和(株)、シキボウ(株)、スタイレム(株)、

田村駒(株)、蝶理(株)、帝人フロンティア(株)、東光商事(株)、東洋紡STC(株)、

東レグループ、豊島(株)、日鉄住金物産(株)、ユニチカトレーディング(株)

（社名50音順）

来場者数： 1,050名（前年比90.8%）

概 要：過去3回の開催において好評を博している「アセアン縫製用素材展」について、今年度も東京青山のTEPIA エキシビジョンホールで2日間にわたり開催した。本展示会は、中国からアセアン地域への縫製地のシフトが進展する中で、アセアン縫製に対応する日本仕様、日本品質の素材ニーズが増加しており、組合員を出展者とし、アセアン縫製の日本産・海外産テキスタイル及び関連製品の展示会として、組合員ビジネスの一助とする事を目的に開催している。今年度は、前年度から1社増となる組合員企業14社が出展し、2日間で1,050名の来場者が訪れ、大変盛況のうちに終了した。また、今年度も、来場者動員強化を目的とし、会場施設内でアパレル生産に関わる情報を発信する併催セミナーを実施した。第4回目を迎え、展示会の知名度、内容共に充実してきており、出展各社は、アセアン縫製をキーワードに、提案素材の高度化に加え、展開アイテムの拡充を図り、製品までのアセアン域内一貫生産に対応する品質とコスト競争力を兼ね添えた日本仕様の現地開発素材に加え、製品の高付加価値化を生む国産、域外産の差別化素材をアセアン生産のサプライチェーンに活かす提案など、現地

ネットワークと仕組みを活用した、アセアン縫製における顧客ニーズに対応する様々な提案を行った。

IV. EPA/FTA 協議等への対応

1. EPA/FTAについて

繊維分野における現在交渉中のEPA（TPP11、日EU、RCEP等）や発効後10年を経過するEPAの見直しなどについて経産省の意見徴収に対応し早期締結に向け協力した。

2. 暫八について

暫八制度（関税暫定措置法第八条）の制度改正後の運用上の問題等について受渡委員会および当局（財務省、東京税関）と情報共有し対応等を検討した。

V. 繊維貿易情報センター

2006年9月から繊維貿易情報センターとして組合の事業活動の一環として設置された。2017年度は前年に引き続き中国繊維情報、組合員向けの研修会開催を行った。

1. 繊維貿易情報センターに研究員として次のとおり委嘱した。

米良章生	上席研究員	繊維貿易政策担当
神山義明	上席研究員	インド、南アジア地域担当
武藤和芳	主任研究員	輸出振興事業担当
古宮 滋	主任研究員	アセアン地域担当
大谷 巖	主任研究員	EU 地域及び貿易手続き関係担当
竹内忠男	主任研究員	ファッショントレンド・テキスタイル担当
正田康博	主任研究員	縫製技術・生産管理担当
神谷憲一	主任研究員	貿易手続き、アセアン地域担当

2. 情報配信事業

(1) 中国マーケット情報

各種講演会・セミナー等の開催案内を電子メールにて配信するとともに、2010年4月より、最新の「中国マーケット情報」(本年度は Vol.300～Vol.341)を電子メールにて配信している。中国における生産や販売、消費等の繊維市場動向など、組合員のニーズをタイムリーに広報し、組合員へのサービス向上に努めた。

(なお、当組合のEメール・アドレスは info@jtea.or.jp)

3. 研修会

組合員の新入社員向けに、担当研究員が講師となり 2017 年 7 月及び 2018 年 2 月に、東京、大阪、名古屋で貿易実務研修を行った。

VI. 研修会、講演会、セミナー等の開催

〈関東地区〉

(1) 「ミシンメーカーから見たアセアンの縫製事情セミナー」(共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2017 年 4 月 26 日 (水)

開催場所：東京ファッションタウン(TFT)ビル

出席者数：19 名

講師：JUKI 株式会社 理事・縫製機器&システムユニット
スマートソリューション営業部 スマートソーイング研究所
副所長 本間 君雄 氏

(2) 貿易実務の基礎 研修会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2017 年 7 月 10 日 (月)

開催場所：東京ファッションタウン(TFT)ビル

出席者数：107 名

講師：ジェトロ認定貿易アドバイザー 大谷 巖 氏

(3) 繊維の基礎知識 研修会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2017 年 7 月 20 日 (木)

開催場所：国際ファッションセンター(KFC)

出席者数：100 名

講師：一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター
「繊維の基礎知識・繊維製品の表示」 手塚 克己 氏
「品質基準と評価・分析試験の基礎知識」 川本 哲也 氏

(4) AI (人工知能) による繊維「画像検索エンジン」に関するセミナー (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部、協賛：日本アパレル・ファッション産業協会)

開催日：2017 年 11 月 20 日 (木)

開催場所：文化ファッションインキュベーション

出席者数：95名

講師：第一部「ProductAI 技術の位置付け」

日経BP社 グローバル事業本部シニアプロデューサー 山口 健氏

第二部「画像検索 AI エンジン「ProductAI」の概要・機能紹介とファッション
AI サービスの紹介」

Malong Technologies Co.,LTD. CEO 黄 鼎隆氏

第三部「サポート体制」

株式会社 J&CSOLUTION 代表取締役 後藤 光慧氏

(5) 講演会/「中国のいま これから」(共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2017年12月6日(水)

開催場所：日本繊維輸入組合 東京本部

出席者数：15名

講師：一般財団法人日中経済協会 事業開発部課長 横山 達也氏

(6) セミナー/「ベトナム・ラオスの最新投資・経済状況」(共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年1月17日(水)

開催場所：日本繊維輸入組合 東京本部

出席者数：14名

講師：「ベトナム投資のメリットとデメリット；知っておいてよい情報、事実、知識」

帝京大学、経済学部、国際経済学科、准教授 菊池 正氏

「ラオス経済の最新事情」

ラオス計画投資大臣 特別顧問 鈴木 基義氏

(7) 経済連携協定・原産地規則セミナー(繊維製品について) (共催：輸入組合)

開催日：2018年1月23日(火)

開催場所：テレコムセンタービル

出席者数：52名

講師：東京税関 業務部 総括原産地調査官 調査官 中島 佳一氏

調査官 間宮 圭吾氏

(8) 貿易実務の基礎 研修会～実践編～ (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年2月20日(火)

開催場所：東京ファッションタウン(TFT)ビル

出席者数：54名

講師：ジェトロ認定貿易アドバイザー 大谷 巖氏

(9) 「第4回アセアン縫製用素材展」併催セミナー（関東地区）

開催日：2018年2月15日（木）・16日（金）

開催場所：TEPIA

講師：

1日目 ①「チャイナプラスワンの現状とこれから」

JETRO 海外調査部アジア大洋州課 小林 恵介 氏

出席者数：107名

②「Product AI ～Eコマース革命～」

Malong Technologies Japan 株式会社 代表取締役社長 承 文 氏

出席者数：44名

2日目 ③「現地生情報！ インド・バングラデシュの生産事情」

（一財）ニッセンケン品質評価センター 事業推進室

インド・バングラデシュ担当マネージャー 岩田 純治 氏

バングラデシュダッカ事業所 所長 黄瀬 直明 氏

出席者数：90名

(10) 第26回貿易実務研修会（共催：輸入組合）

開催日：2018年3月20日（火）

開催場所：テレコムセンタービル

出席者数：35名

講師：東京税関 業務部 各担当官

「申告手続きについて」 通関総括第1部門 上席審査官 会沢 めぐみ 氏

「通関時の商品分類について」 首席関税鑑査官 関税鑑査官 八島 理乃 氏

「関税評価制度について（輸入のみ）」 首席関税評価官 審査官 高木 正秋 氏

「GSP・EPAの原産地認定基準について」

首席原産地調査官 原産地調査官 川畑 高志 氏

「関税の減免・戻し税制度について」

通関総括第2部門 上席審査官 島垣 弘幸 氏

〈関西地区〉

(1) ミシンメーカーから見たアセアンの縫製事情セミナー（共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部）

開催日：2017年4月20日（木）

開催場所：東京ファッションタウン(TFT)ビル

出席者数：40名

講師：JUKI株式会社 理事・縫製機器&システムユニット

スマートソリューション営業部 スマートソーイング研究所副所長 本間 君雄 氏

(2) 繊維の基礎知識と品質評価 研修会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2017年7月6日(木)、7日(金)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：6日=80名、7日=55名

講師：一般財団法人 カケンテストセンター

- | | | |
|-----|------------------------|---------|
| 1日目 | 1. 「繊維・糸・生地及び染色の基礎知識」 | 新井 秀隆 氏 |
| | 2. 「生地品質の評価」 | 久木 一真 氏 |
| | 3. 「ヨーロッパ向け試験方法及び品質表示」 | 田中 健太 氏 |
| 2日目 | 1. 「縫製品の基礎知識と性能評価」 | 森 秀樹 氏 |
| | 2. 「最終製品の品質表示規則」 | 木村 隆之 氏 |
| | 3. 「付加する機能とその評価」 | 咲山 航 氏 |

(3) 貿易実務の基礎 研修会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2017年7月14日(金)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：72名

講師：ジェトロ認定貿易アドバイザー 大谷 巖 氏

(4) AI (人工知能) による繊維「画像検索エンジン」に関するセミナー (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2017年8月30日(水)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：56名

- 講師：第一部「Malong社の紹介と画像検索AIエンジン『ProductAI』の概要」
Malong Technologies Co.,LTD. CEO 黄 鼎隆 氏
- 第二部「日本における適合性と今後のマーケティング展開」
日経BP社 グローバル事業本部シニアプロデューサー 山口 健 氏
- 第三部「ProductAIの機能紹介とデモ、中国繊維DBとの連結可能性」
興南貿易株式会社 代表取締役社長 承 文 氏
- 第四部「サポート体制」
株式会社 J&CSOLUTION 代表取締役 後藤 光慧 氏

(5) セミナー/「ベトナムを中心としたアセアン地区の人材特性と活用方法について」 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2017年9月15日(金)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：26名

講 師：一般財団法人カケンテストセンター
「ベトナムを中心としたアセアン地区の人材特性と活用方法について」
国際部 ASEAN 室長 原田 賢 氏
「国内外における海外規格試験のご紹介」
大阪事業所 海外規格ラボ ラボ長 大久保 威宏 氏

(6) 神戸港施設見学会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開 催 日：2017年9月21日(木)
集合場所：神戸市役所3号館前
参加者数：32名
内 容：チャーター船による神戸港施設・KICT コンテナターミナル 見学

(7) 一般財団法人カケンテストセンター 試験室見学会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開 催 日：2017年11月22日(木)
集合場所：一般財団法人カケンテストセンター 大阪事業所
参加者数：18名
内 容：セミナー：「付加する機能とその評価」 咲山 航 氏
試験見学：染色堅牢度試験(耐光、洗濯、汗、摩擦)、混用率、繊維鑑別、ホルマリン、紫外線遮蔽率、消臭、抗菌、帯電性、吸湿発熱、吸水速乾性、接触冷温感、引張強さ、引裂強さ、破裂強さ、滑脱抵抗力、ピリング

(8) 第25回貿易実務研修会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開 催 日：2017年11月30日(木)
開催場所：輸出繊維会館
出席者数：42名
講 師：大阪税関 業務部 各担当官

「AEO制度」について	認定事業者管理官	宮下	認定事業者管理官
「輸入申告手続き」について	通関総括第1部門	小川	上席審査官
「関税評価」について	関税評価部門	北浦	関税評価官
「原産地規則」について	原産地部門	濱元	上席審査官
「品目分類」について	関税鑑査官	大西	関税鑑査官
「加工再輸入減税制度」について	通関総括第3部門	関本	総括審査官

(9) 講演会/「中国のいま これから」(共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2017年12月8日(金)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：33名

講師：一般財団法人日中経済協会 事業開発部課長 横山 達也 氏

(10) セミナー/「ベトナム・ラオスの最新投資・経済状況」(共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年1月16日(火)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：16名

講師：「ベトナム投資のメリットとデメリット；知っておいてよい情報、事実、知識」

帝京大学、経済学部、国際経済学科、准教授 菊池 正 氏

「ラオス経済の最新事情」

ラオス計画投資大臣 特別顧問 鈴木 基義 氏

(11) 経済連携協定・原産地規則セミナー(繊維製品について) (共催：輸入組合)

開催日：2018年1月25日(木)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：55名

講師：東京税関 業務部 総括原産地調査官 原産地調査官 上原わかな 氏

調査官 三宮 準 氏

(12) 貿易実務の基礎 研修会～実践編～ (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年2月23日(金)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：44名

講師：ジェトロ認定貿易アドバイザー 大谷 巖 氏

(13) 第18回関税制度等分科会 (共催：輸入組合)

開催日：2018年3月29日(木)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：15名

講師：①「東西経済回廊物流調査(タイ・ミャンマー)報告」

日本繊維輸入組合 ロジスティクス委員会 委員長

川合利直 氏 (三井物産アイ・ファッション(株))

②情報共有

「暫八生地見本提出省略」等について

「事後調査結果」等について

幅広く情報共有と諸問題の改善・解決を図るため今期より輸出組合も参加

〈名古屋地区〉

(1) 貿易実務の基礎 研修会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2017年7月13日(木)

開催場所：A B O (安保) ホール

出席者数：19名

講師：ジェトロ認定貿易アドバイザー 大谷 巖 氏

VII. 海外(含む駐日)関係機関等交流・協力等

- アジア・ファッション・フェア併催セミナー (4/11 大阪)
- エチオピア・アジア・ビジネスフォーラム (4/25 大阪)
- 江蘇省展代表団との懇談 (5/24 大阪)
- ミャンマー投資セミナー (6/1 大阪)
- インド総領事・テランガナ州政府代表団との懇談 (8/3 大阪)
- CSRセミナー (8/23 ベトナム)
- 中国代表団へのレクチャー (9/20 大阪)
- 中国長江実業総裁との懇談 (9/24 大阪)
- 中国建国68周年レセプション (9/28 大阪)
- 日中韓繊維産業協力会議 (11/16 大阪)
- タイ国/国家の日レセプション (12/6 大阪)
- 日中繊維貿易定期協議 (3/1 東京)
- パキスタンナショナルデーレセプション (3/22 東京)

VIII. 上海分会

日本繊維輸出組合・日本繊維輸入組合、テキスタイル倶楽部(第7回から参加)の3団体は、合同事業として、組合員の上海駐在企業相互の情報交換と懇親を促進し、また、必要に応じて中国現地での各社に共通する問題の情報交換やその対応等を検討するために、平成

18年8月に「上海分会」を設立した。平成29年度に於いては、横川会長（豊島国際（上海）有限公司董事長）の下で、下記の3回にわたって上海分会が開催された。

第44回「上海分会」

日 時：2017年6月23日（金） 16時～17時30分
 場 所：上海虹橋美爵酒店 2階 御龍庁（Dragon room）
 議 事：講演：中国現地日系企業のリスク管理～債権回収
 講師：開澤律師事務所/パートナー弁護士/王 穩 氏

第45回「上海分会」

日 時：2017年9月8日（金） 16時～17時30分
 場 所：上海虹橋美爵酒店 2階 御龍庁（Dragon room）
 議 事：講演：ラオス経済の最新事情
 講師：ラオス計画投資大臣 特別顧問 鈴木 基義氏

第46回「上海分会」

日 時：2018年2月2日（金） 15時30分～17時
 場 所：古北湾大酒店 5階 「多功能庁」
 議 事：講演：AI（人工知能）による繊維「画像検索エンジン」に関するセミナー
 講師：Malong Technology Inc. CEO 黄 鼎隆 氏

「上海分会」会員会社名簿（平成29年12月31日現在 25社/登録者数45名）

会社名（現地）	会社名（現地）
日鉄住金物産（上海）有限公司	帝人商事（上海）有限公司
蝶理（中国）商業有限公司	神栄（上海）貿易有限公司
科立思管理（上海）有限公司（GSI中国社）	東洋紡高機能制品貿易（上海）有限公司
伊藤忠繊維貿易（中国）有限公司	双日繊維（上海）有限公司
Forward Apparel Company	住衣時裝国際貿易（上海）有限公司
興和（上海）貿易有限公司	三發成（上海）国際貿易有限公司
丸紅（上海）有限公司	瀧定大阪（上海）商貿有限公司
丸紅繊維（上海）有限公司	田村駒（上海）紡織品有限公司
菱華商業（上海）有限公司	新東商国際貿易（上海）有限公司
三井繊維物資貿易（中国）有限公司	豊田通商（上海）有限公司
紹興凱越進出口公司杭州事務所	豊島国際（上海）有限公司
尼西則瓦（上海）貿易有限公司	八木通商（上海）有限公司
譜洛革時（上海）貿易有限公司	

〈管理部門分科会〉

上海分会の会員企業からの要望により、組合員の現地各社に共通する人事管理、法務、税務、財務等の管理部門が抱える諸問題について実務担当者による情報と意見の交換、及び交流を目的として、平成 22 年 9 月に「上海分会」の下に「管理部門分科会」を新たに設置した。

平成 29 年度に於いては、第 28 回(6 月 23 日)、第 29 回(9 月 8 日)、第 30 回(2 月 2 日)の 4 回にわたって開催された。

〈中国人職員向け「第 11 回対日輸出及び中国内販繊維製品品質管理セミナー」(上海地区)〉

開催日時：2017 年 9 月 7 日（木） 10 時～17 時

開催場所：上海・虹橋賓館 2 階 玫瑰庁

内 容：・衣料品の縫製検査のチェックポイント ・日本向けの法規制
・日本の小売店が要求する品質性能 ・機能性製品の評価方法
・中国内販の要求・中国内販の検査 ・輸入輸出の検査

講 師：上海科懇検験服務有限公司（カケン上海）

品質管理部長 陸国華 氏 試験部次長 馬 偉 氏

参 加 者：在上海組合員企業の中国人職員 27 名（10 社）

IX. 国内関係諸団体

当組合は、国内関係諸団体の会員、協力団体として、その事業遂行に積極的に協力した。

当組合が加入している国内関係諸団体は以下のとおりである。

日本繊維産業連盟、日本貿易会、日本貿易振興機構、日本関税協会、繊維産業流通構造改革推進協議会（繊維ファッション SCM 推進協議会）、日中経済貿易センター

X. CSR について

新興国への事業展開が進む中、自社工場やサプライチェーンにおける労働問題（児童労働、強制労働、低賃金、劣悪な労働環境等）が、経営上のリスクとして大きくクローズアップされている。

労働問題への対応が不適切な場合、企業のブランドイメージの低下や、それに伴う売上の減少、そして労働ストライキや訴訟へと発展し、企業の責任が厳しく問われることになる。

このことから 2015 年度より、日本繊維輸入組合・日本繊維輸出組合・一般社団法人テキス

タイル倶楽部共催で、組合員への情報発信、情報交換を目的に、CSRセミナー・勉強会を開催している。

今年度は下記セミナーについて協賛した。

(1) 第5回CSRサプライチェーンセミナー（ベトナム）

開催日：2017年8月23日（水）

開催場所：Hotel Nikko, Saigon

主催：株式会社エナジェティック グリーン・帝人フロンティア株式会社

協賛：日本繊維輸入組合・日本繊維輸出組合

内容：①「CSRの潮流」 エナジェティック グリーン 和田 征樹 氏

②「「ビジネスと人権」国連主導原則と日本」

JETRO アジア経済研究所 山田 美和 氏

③「CREST（外国人技能実習制度等への対処プログラム）の紹介」

IOM 国際移住機関 DAVID KNIGHT 氏

④「ベトナムにおける責任ある労働慣行優良事例紹介」

ILO 国際労働機関 NGUYEN HOANG HA 氏

(2) CSRサプライチェーンセミナー（ミャンマー）

開催日：2017年11月16日（木）

開催場所：Inya Lake Hotel

主催：株式会社エナジェティック グリーン・帝人フロンティア株式会社

協賛：日本繊維輸入組合・日本繊維輸出組合

内容：①「国際社会における日本の役割」 JETRO アジア経済研究所 山田 美和 氏

②「ミャンマーにおける移民労働者の状況と、CREST（外国人雇用への対処

プログラム）の紹介」 IOM 国際移住機関 JOBST KOEHLER 氏

③「ミャンマー繊維工場の労働環境について」 MCRB VICKY BOWMAN 氏

④「セミナー総括」 エナジェティック グリーン 和田征樹 氏

第七 業務関係

I. 輸出繊維品の原産地証明書発給状況

当組合は、繊維品輸出に係る原産地証明書の発給業務を行っており、2017年1～12月に発給した証明書の件数は下記の通りであった。

2017年1～12月 原産地証明書発給件数

		件数	前年比
大阪本部	組合員	2,423	97
	非組合員	268	59
東京支部	組合員	296	119
	非組合員	37	79
合計	組合員	2,719	99
	非組合員	305	61
総合計		3,024	93

II. 広報、諸統計、その他

1. ホームページでの広報等による情報提供

現在まで作成してきた各種貿易統計をタイムリーに活用できるサービス体制の強化を目指すとともに、効率的な業務運営並びに経費節減の観点から、2002年8月にホームページを開設した。更に、2005年4月より、当組合の繊維品輸出統計（「TEXTILE EXPORTS OF JAPAN」、
「化合繊維・綿の輸出動向」、
「織・編物（絹・化合繊維・綿・毛）輸出動向」、
「主要繊維二次製品輸出動向」）の配付を取り止め、ホームページに掲載することにした。

また、各種案内、制度変更の通知、各種報告書、各種統計等を掲載したほか、重要または緊急性のある情報を迅速に掲載する等組合員への情報サービスの強化を図るとともに HP の利用推進を図った。

URL <http://www.jtea.or.jp>

2. 諸統計の作成

(1) 通関情報処理システム（CCIS）

①下記の CCIS データ項目の内容で、組合員の貿易データの電算処理を行った。

輸入：I・IIタイプ共通；荷主 REF. No.、荷主セクションコード、申告税関コード、申告番号、輸入者コード、貨物個数、許可年月日、インボイス価格、通関金額、品目コード（HSコード）、数量1（第1数量、単位）、数量2（第2数量、単位）、原産地国名
IIタイプ；大額、小額表示、インボイス条件、インボイス通貨、評価申告区分、内国消費税、納税支払区分、延納許可区分、担保額、関税率区分、関税減免税適用条項等
輸出：荷主 REF. No.、荷主セクションコード、申告税関コード、申告番号、輸出者コード、仕向け地、許可年月日、インボイス価格、FOB 価格、品目コード（HSコード）、数量1（第1数量、単位）、数量2（第2数量、単位）、原産地国名、無為替等

② これらのデータを基に作成した、各組合員の自社に関する輸出入の諸統計情報及び CCIS の原データを、組合のホームページからダウンロードして閲覧することができるサービスを2017年度も継続して実施した。

(2) 国際繊維貿易統計

対象 52 ヶ国で発表される繊維品貿易データを Global Trade Atlas から取得し、各種依頼に応じて統計資料の作成を行った。

(3) 輸出貿易統計

日本の繊維品輸出貿易について、毎月 29 日頃に財務省ホームページ等から通関実績を入手し、「TEXTILE EXPORTS OF JAPAN」、主要品目統計（化合製品輸出状況など）などの月表を毎月作成して組合ホームページに掲載した。

3. 登記・届出関係

- ① 2017. 6. 9 2016 年度（第 54 期）事業報告書の承認届（経済産業大臣）
- ② 2017. 6. 9 役員に関する変更届（経済産業大臣）
- ③ 2017. 8. 7 代表理事変更登記

